

# さとしょう

議会だより

No.123

2026.1.31



岡山県 里庄町議会



◀過去の議会だよりは  
ここからご覧になれます。

# 全会一致で可決

12月

## 定例会

令和7年第7回定例会は11月28日から12月5日までの8日間の会期で行われました。議案は条例の制定2件、一部改正2件、令和7年度補正予算6件、道路線の認定1件、組合規約の変更2件など、15件が上程されすべて原案通り可決されました。また請願が2件ありました。補正予算は予算決算委員会、請願は総務文教委員会、建設福祉委員会へ付託され審査を行いました。なお、一般質問には6人が登壇し、町の姿勢や考えを問いました。

### 一般会計の主な補正予算

ふるさと納税返礼

事務委託料

4930万円

地域介護・福祉空間整備等施設整備補助金

1044万円

令和7年度の当初予算

4億円からさらに1億円の寄附金が見込まれるため、返礼事務の委託料

です。

国の補助金を活用し、町内2か所のグループホームの改修を行いました。

消防機庫新設工事

6980万円

建築から46年が経過し、

老朽化しているため、第9部（岩村・津江）の消防機庫の移転新設を行います。



みんなと楽しく

### 12月補正の結果

会計名	補正後の金額	(補正額)
一般会計	73億7560万円	(2億7702万円)
国民健康保険特別	11億1819万円	(20万円)
介護保険特別	13億3936万円	(324万円)
後期高齢者医療特別	2億1826万円	(591万円)
水道事業会計		
収益的支出	2億6847万円	(24万円)
資本的支出	1億 319万円	(23万円)
公共下水道事業会計		
収益的収入	4億3592万円	(55万円)
収益的支出	3億7241万円	(55万円)
資本的収入	2億3848万円	(53万円)
資本的支出	4億4079万円	(53万円)

※千円以下は切り捨てています

令和7年  
12月

# 補正予算は

その他議案も全て原案通り可決されました。

## 総括質疑

上がり幅が非常に大きい

**仁科英議員** 保育所給付費8700万円アップで上がり幅が非常に大きいのが、どのように上がったのか。

**健康福祉課参事** 人事院勧告により給付費単価が大幅に上がり、1・2倍を見込んでいます。

7年度当初予算では、確定しておらず、6年度の増加分を見込んでいなかったため併せて補正計上しました。

**仁科英議員** 法外援護費は一人いくらか。

今後、単価の見直しをすべきと思うが、考えは。

**健康福祉課参事** 物価高騰を踏まえ、単価は令和5年度235円から240円に上げている。今回は増額はしていないが、運営状況を見ながら検討していく。

**仁科英議員** 大幅に扶助費をアップするのだから、全体で洗い直さないとイケないと思うが、どうか。

**町長** 園から要望が出ているが、できること・できないことの話をしていく。

今後も保育園の声を聞き、町の財政状況をみながら、子どもが安心して利用できる環境を整えていく必要がある。

## 条例の制定

里庄町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

子ども・子育て支援法の一部を改正する法律により乳幼児等通園支援事業が創設されたため、町で条例を定めることが必要になりました。

子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

乳児等通園支援事業の創設、地域限定保育士の一般化、保育所等の職員による虐待に関する通報の義務化、利用開始時の健康診断等の見直し及び満3歳以上限定小規模保育所の創設に伴い関係法令の改正が行われたことにより町で条例を定めることが必要になりました。

## 質疑

里庄町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

### 基準は

**佐藤議員** ほふく室が、3・3㎡、遊戯室が、1・98㎡とほふく室より狭くなっているが、この基準についてどう考えているのか。

**健康福祉課参事** この面積基準は、国が定める最低基準と同じもので設定している。

4月以降の実施状況を見て支障があれば見直ししていく。



笑顔あふれる空間(げんキッズ)

## 質疑

債権の放棄について

### 求償権を行使すべき

**仁科英麿議員** 国民健康保険の被保険者が、他の健康保険に加入した後も誤って国民健康保険証を使い医療を受け2年以上経過していることが判明した。

国民健康保険法では2年以上経過したものは時効により債権を失っているため、返還請求できない。請求しても返さないと言われたらそれまでと思うがどうか。

**町長** 県との協議また弁護士と相談し、その見解の上で提出した。

**町民課参事** 国の考えでは、本来の支払い義務者は被保険者と考えているので、保険者は被保険者に対して返還請求すべきという見解も示される。

**仁科英麿議員** 地方自治法では一般的な公金についての歳入、歳出などは5年という規定があるがその点どう考えるか。

**町民課参事** 5年が経過していないので債権が残っているとこの考えの下、今回債権放棄の議案を提出した。

**仁科英麿議員** 民法では里庄町から債務者である関係の組合に対する求償権はあるが、それを行使すべきでは。

**町民課参事** 里庄町国保が、新しい保険者に対しての求償権は存在しないという見解が示されている。あくまでも被保険者が関係する保険者に対して療養費の請求をすること

ができるという解釈で考えている。

今回の里庄町が被保険者に対して不利益を被るということがあったので、債権放棄という議案を提出している。

**仁科英麿議員** 地方自治法ではこのような不当利得は5年としか書いていない。

民法の規定では国保が求償することができると考える。民法により訴訟もできるが、そこまでしなくても国や県に強く要望してはどうか。

**町民課参事** 今回の不当利得、請求権についても、県から何らかの指示があると思うので、その指示を受け、今後の対応を研究していきたい。

### ここが反対!

## 放棄は大きな矛盾

仁科英麿議員

町から町民への返還請求権は時効により請求できないので、放棄は大きな矛盾。  
町から関係の健康保険組合への求償権は知った時から5年間消滅しないので保険組合に返還を求めることはできる。  
この議決は、今必要ではない。

里庄町介護老人保健施設里見川荘の指定管理者の指定について

### 利益の配分は

**仁科英麿議員** 小さな備品の購入は、見積りや随意契約があるが、予定価格の基準があるのか。  
**総務課長** 修繕も備品購入も積算や見積りは、指定管理者ではなく町がしている。

納入額を多くする考えもあつたのではないかと。どのようか考えて、従来と同じ内容にしたのか。  
**総務課長** 介護老人保健施設は聞く限り半分ぐらいは赤字経営。

**仁科英麿議員** 利益の配分は、指定管理者から町へ基本納入額の1000万円が入り、収入・支出を除いた利益を折半する。

しかし、町は大きな建設改良工事などがあり積立てに回らない。  
町の12年間の積立額は、2億2000万円。一方、指定管理者は3億2000万円、2対3の利益配分になっている。

今後のことを考え、本来に折半になるよう基本

里見川荘は、通常の老健施設より資格を持った職員を大量に採用するなどの企業努力により、超強化型で介護納付金が多い。

人件費もかさむが営業努力により入所率が高い状況。入所者が減少すれば収入が減り赤字になることが心配される。

それらを踏まえ、今回の募集要項は今までもおりの基準納入額で判断をした。

◆ 予算決算委員会

12月3日、関係当局の説明を聴取しながら慎重に審査を行いました。令和7年度里庄町一般会計補正予算(第4号)については、児童発達支援費の増額に対する質疑に対し、児童発達支援費は就学前の子どもの療育費、放課後等デイサービス費は就学後の子どもの療育費となるが、毎年利用者数に変動があり、当初の見込みより健診などで対象者が増えたためという説明がありました。審議・採決の結果、議案第55号令和7年度里庄町一般会計補正予算(第4号)から議案第60号令和7年度里庄町公共下水道事業会計補正予算(第2号)までの6議案とも全会一致で原案を可決しました。

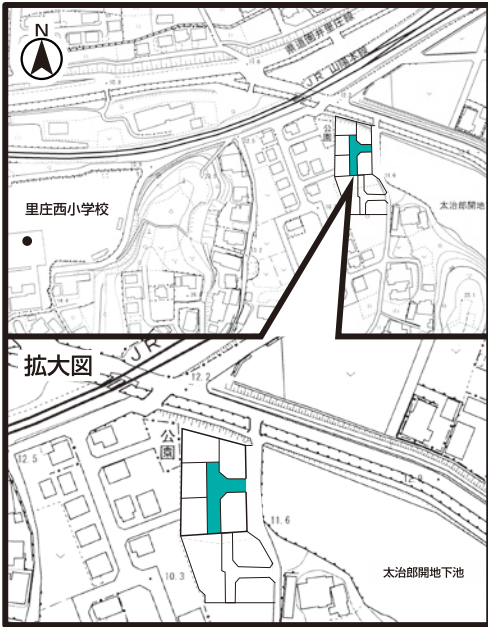
◆ 建設福祉委員会

12月2日、農林建設課の案内の下、委員全員が現地調査・確認を行いました。その後、慎重に審査しました。

本2路線は、令和6年5月に川南地区の太治郎開地下池の西側に5区画製造された団地内にある位置指定道路です。現地を確認したところ、位置指定道路の規格で施工され、県の完了検査を受けており、団地内全て、区画で住宅が建築されています。

ました。

本件の審査において、隣接している団地の道路につながるなかったのかという委員の質疑に対して、開発協議が出てきたときはできるだけ前からある道路に接続するようにお願いしている。今回は土地の形状的に、難しかったという説明がありました。審議・採決の結果、本案は全会一致で認定しました。



## 一 請 願

### 子育て支援の充実に関する請願

#### 請願趣旨

次代を担う子どもたちが、夢と希望をもち、安心して心豊かに育つことができるよう、国においては「こども未来戦略」を策定し、子どもや若者が笑顔で暮らせる社会、そして希望する誰もが安心して子どもを育てられる社会の実現を目指しているが、依然として子育て家庭を取り巻く環境には課題も残されており、産前産後期・幼児期・就学初期において異なった内容の支援充実を求める。

#### 建設福祉委員会審査

12月2日に委員全員出席の下、慎重に審査しました。

本件の審査において要望している各項の内容をそれぞれ吟味した上で、慎重に審査する必要がある。また、子育て支援も高齢者対策も医療対策も大事であり、予算というものは全体的なバランスがある。また、来年度の当初予算が上がってくる施策の内容を見て検討したいという意見などがありました。

採決の結果、継続審査となりました。

賛 成 1 : 3 継続審査

## 一 請 願

### 選択的夫婦別姓制度の法制化を進める意見書の提出を求める請願

#### 請願趣旨

選択的夫婦別姓制度は同姓を望む人には同姓を、別姓を望む人には別姓が自由に選択できるので、人権と民主主義に基づきお互いの選択を尊重する制度。

通称使用では不利益・不都合を強いられる人が多数存在する中で根本的な解決を図るためにも必要。

#### 総務文教委員会審査

12月2日に委員全員の出席の下、慎重に審査しました。

家制度が廃止され日本の文化・歴史が西洋化しつつある中で日本の良さ、日本の習慣など考えれば従来通りの同姓でいい。結婚後も子どもにも自分の姓を名乗ってほしいといった反対意見。

また、強制的な別姓を求めるものではなく選択的に別姓を名乗られるよう法制化を求めているので賛成といった意見がありました。

採決の結果、不採択となりました。

賛 成 1 : 3 反 対

#### ここが賛成！

### 人権を守るためにも必要

佐藤耕三議員

世界の中で夫婦同姓を義務づけているのは日本だけ。  
憲法13条、人として尊重される。両性の本質的平等をうたう憲法24条にも違反しているのではないか。  
人権を守るためにも、それが障がいとなり結婚に踏み切れない人のためにも、必要である。

## 賛否表

○…賛成 ×…反対

議案名	議員名	議員名									議決結果
		岡村咲津紀	眞野博文	仁科英麿	小野光章	仁科千鶴子	佐藤耕三	田辺博樹	難波啓祐	岡本貴之	
議案第53号	里庄町職員の給与に関する条例及び里庄町第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当、勤勉手当及び費用弁償に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第54号	特別職の職員の給与に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	×	×	○	○	可決
議案第55号	令和7年度里庄町一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第56号	令和7年度里庄町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第57号	令和7年度里庄町介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第58号	令和7年度里庄町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第59号	令和7年度里庄町水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第60号	令和7年度里庄町公共下水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第61号	岡山県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の減少及び岡山県市町村総合事務組規約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第62号	岡山県市町村税整理組合を組織する市町村数の増加及び岡山県市町村税整理組規約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第63号	債権の放棄	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
議案第64号	里庄町道路線の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第65号	里庄町介護老人保健施設里見川荘の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第66号	里庄町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第67号	子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
請願第1号	子育て支援の充実に関する請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	継続審査
請願第2号	選択的夫婦別姓制度の法制化を進める意見書の提出を求める請願	×	×	○	×	×	○	○	×	×	不採択

(注)議長は採決に加わりません。(賛否が同数の場合を除く。)



とんど焼き(八ツ的分館)

12月定例会

# 一般質問

# 町政を問う

## 6人の議員が登壇して質問!

**岡本 貴之 議員**.....9P

- ① 子ども達の通学路の改修・改善を

**難波 啓祐 議員**.....10P

- ① 野生動物問題とジビエ料理の普及
- ② 道路里親制度導入は
- ③ 高齢者講座の充実を

**仁科 英麿 議員**.....11P

- ① 新ごみ焼却施設及び熱利用施設に対する今後の里庄町の純粋負担総額及び年度別内訳は
- ② 金山、干瓜地域における信号機の設置と適正な土地利用の確保策等
- ③ 農業支援などを目的として地域おこし協力隊員を招致しては(3回目)
- ④ 観光ボランティア制度を創っては
- ⑤ 会計年度任用職員の募集広告には、期末・勤勉手当の額等も明記しては

**佐藤 耕三 議員**.....12P

- ① 町内への移住者に対する支援は
- ② 水道事業経営の見通しは
- ③ 広報紙(広報さとしょう)の紙面

**田辺 博樹 議員**.....13P

- ① 新ゴミ焼却場建設で2,000万円を5地区に配ったことは
- ② 2つの建設プロジェクトは

**仁科 千鶴子 議員**.....14P

- ① 里庄町長として8年間は
- ② 耕作放棄地どうする

※一般質問の原稿は質問者が作成しています。

岡本 貴之 議員



## 通学路の改修・改善を

農林建設課長／優先順位をつけて今後改善を図っていききたい

通学路の問題は、大小併せてさまざまあるが子どもたちが毎日利用している通学路は、安全に使用できることがまずは最優先。「そもそも道路が狭い」「信号機がない横断歩道で危ない」「車道のすぐそばを歩かなくてはいけない」「暗くなっても照明が少なく暗い」など、多方面で保護者からの意見を耳にしている。

現実的に改善が難しいところも多く存在するが、その中でもよく耳にする西小学校の北側の線路と県道との間の町道は、中学生の通学路としても問題が多い通学路となっている。

**問** 町として西小学校北側の町道の現状は認識しているのか。

**農林建設課長** 指摘の箇所については、西ノ平

地区から川南地区に位置している、新庄川とJR山陽本線との間の道路で町道新庄315号線。平成20年度に拡幅及び舗装

工事を実施した路線で、現状道路面については、凹凸や亀裂、道路の縁にあるアスファルトの劣化、転落防止柵のない箇所や照明設備を設置していない箇所など、町としては現状は十分認識しており、現状に応じて道路際の草刈りであるとか部分的なアスファルト補修などを実施している。

**問** 路面の改修改善をする計画はあるのか。

**農林建設課長** 今後、路線全体

の改修については考えていないが、凹凸箇所など通行に支障が出てくる箇所については、部分的ではあるが、修繕などを行っていききたいと考えている。

**問** 今後その他の通学路についても要望が出た場合、今後どのように改善していくのか。

**農林建設課長** 学校関係の通学

路などの修繕要望については教育委員会が実態調査をし、農林建設課・企画商工課と要望を共有した上で1件ずつ現場確認は行っている。

要望内容については、警察や県などとの協議が必要なものや、私有地の用地買収など必要が出てくるもの、町単独で完結ができるもの、さまざま要望があるが、予算や緊急性、必要性などを検討して、優先順位をつけて今後改善を図っていききたい。

**問** 要望が出ている件数に対して大体どの程度実施ができていくのか。

**農林建設課長** 昨年の実績を見ても100%要望に対して行うことはできていない。

物理的な信号や横断歩道になると、警察との協議が必要になり、警察の考えではここは設置は難しいというところもある。要望が一つでも多く改善できるように努力を続けていきたい。



# 野生動物の被害は

農林建設課参事／金額的には減ってきている

## 問

野生動物の被害状況は。

**農林建設課参事** 鳥獣被害防止特別措置法に基づく被害防止計画を3年ごと

に作成している。

被害作物としては、稲、柿、桃、芋、白菜、トウモロコシなどで、金額は令和3年が9万3000円、令和6年が8万3400円となっている。

## 問

駆除された野生動物はどのような動物になるのか。

**農林建設課参事** イノシシについては、大半が自家消費。ヌートリアなどの小動物についてはほぼすべてが清掃工場へ搬入して焼却処分となっている。

## 問

そのような野生動物は解体加工してジビエ料理として普及してはどうか。

**問** 被害防止はどのようなにしているのか。

**農林建設課参事** 被害相談があった場合は、現地確認を行い、有害鳥獣駆除班に保護をお願いしている。また、町の補助金制度を活用した防護柵設置を勧めている。

**農林建設課参事** 野生鳥獣を解体加工するには、食品衛生法に基づく食肉処理業の営業許可を取得している施設HACCPに沿った衛生管理をしなければならず、捕獲者の止め刺しの方法、持ち込

み時間などが制限されている。現時点でのジビエ料理として普及するとうことは考えていない。



難波 啓祐 議員

## 道路里親制度について

農林建設課長／研究をしていきたい

## 問

道路里親制度があり、各自自治体で取り上げているところがある。

**問** これは、道路の一定区間の清掃、緑化の推進、里親となれば名前が記載された表示板を道路沿いに設置することで社会に貢献していることをアピールできる、などのことを企業や市民団体などと契約して任せたらどうかというものである。この道路里親制度導入についての考えはあるか。

**農林建設課長** 現在岡山県では、そのような活動を行うおかやまアダプト事業がある。町内では八ツ的、干瓜、団体としては浜中団地西、今立川愛護会、手の際自警消防団

がある。

地域の人々には非常に協力をしてもらい、協働の町づくりが進められていると考えている。

この制度の導入については、町内の状況も勘案しながら研究をしていきたいと考えている。

## 問

現在、町ではいろいろな講座を開講しているが、これらの講座に対して終了証、認定証を発行してはどうか。

**教委事務局長** 町では町民が生涯を通して主体的に学習機会を選択して学び、その成果を社会に生かし、豊かな地域づくりに反映される生涯学習の推進を図っている。

いつでも、どこでも誰もが学び続けることによって人生を充実させ、地域への貢献意欲や力を持ち続けていくためにさまざまな学びの機会を提供できるよう、そのような認定証のやり方についても他の市町の事例も参考にしながら調査・検討をしていきたい。

## 高齢者講座の充実について

教委事務局長／調査検討をしていきたい

仁科 英磨議員



# 組合に直接聞けとはどういうことか

町長／組合への対応の仕方を説明した

**問**

9月議会の委員会の後、「今後は、一部事務組合のことは組合に直接聞いてくれ。」という説明があったが、これはどういうことか。

**町長**

町及び地元住民に対する組合のさまざまな対応の考え方や予算に対する対応の仕方を整理し、説明した。

**問**

一議員では限界がある。それなら議員が行ったら対応してくれるルートを創って。新ごみ焼却場と熱利用施設の事業費総額、各施設別・項目別内訳、財源内訳、里庄町の純粋負担額、年度別内訳などは。

**町民課 参事**

建設費は、ごみ焼却施設147億円、熱利用施設17億円、運営費は、それぞれ87億円、11億円である。項目別内訳などは、把握していない。

**問**

地域インフラ整備事業約1億8

000万円、配分金1億円、地域活動支援費なども含めて、整理して欲しい。

5地区への各2000万円の配分金の考え方と、配分の範囲を半径500mとした根拠は。環境ア

## 各交差点などでの安全対策は

農林建設課長／信号機の設置や横断歩道など

**問**

来年度めじろ押しに来る2つの施設の稼働開始や玉笠バイパスの開通などは、金山、干瓜地域をはじめ、里庄町全体の社会経済に激変をもたらすと思う。

まず、地域の道路交通量は、どう変化するか。農林建設課長

増加は見込んで行なうが、交通量の推計はできない。

**問**

ごみ焼却施設のアセスメントにも、緻密なデータがある。

セスメントの結果は、排ガスの最大着地濃度出現地点は北側660mだ。

町民課 参事 県が産業廃棄物処理施設を許可する時の建設同意の範囲を参考にしたと聞く。

横断歩道など

各交差点において、横断歩道と信号機はどのように設置されるのか。

**農林建設課長**

金山の県道と町道の交差点は組合と警察で、玉笠バイパス出入口の交差点は県と警察で、現在協議中。新県道と国道2号線の丁字路交差点には信号機と横断歩道の設置を、干瓜大池付近の改良交差点には横断歩道の設置を予定していると聞く。

**問**

町も入って積極的に対応すべき。

その他の小さい交差点などの安全対策は。

農林建設課長 停止線や停止破線の設置を予定しているところもある。今後、実際の交通量も見ながら、地元とも相談。

**問**

小中学生の通学路については、集団登校の小学生については、関係の地区と学校で相談して決めてもらう。個別登校の中学生には、情報を提供し、学校も相談に乗りながら、各家庭で考えてもらう。

**教委事務局長**

**問**

防犯カメラの設置は。金山の県道交差点に設置した。

**企画商工課長**

**問**

地域の乱開発を防ぎ、安全・安心で効率もよい土地利用を確保するためには、土地利用計画を定めておいて、それに向かって誘導する必要があるのでは。

**まち整備課長**

里庄町都市計画マスタープランで定めているゾーンニングの考えの下で進めたい。

**問**

極めて抽象的に書いているだけなので、指導の指針にはならないのでは。

**まち整備課長**

それに基づいて進めたい。

その他の質問

地域おこし協力隊の招致があるのか。

A 検討に至っていない。

Q ミッション別の必要性。

A (農業支援) 安易には実施できない。

(観光振興) 研究する。

(健康・介護) 適さない。

(デジタル弱者支援) 一つの選択肢。

観光ボランティア制度

Q 制度創設の必要性は

A 研究したい。

会計年度任用職員の募集

Q 募集広告に、期末勤勉

手当の額なども明記を。

A 分かり易い記述を研究。

# 定住促進対策は十分か

町長／実感してもらえることが重要

**問**

空き家を活用し、お試し住宅や転入者と転入希望者の意見交換の場を設けては。

**まち整備課長**

現時点では予定していない。

**問**

転入者が起業する場合の支援は。金銭的な支援は行っていない。

**企画商工課長**

産業振興財団や商工会などと連携し、創業の相談やセミナーを実施している。

**問**

他の自治体に比べ支援の数が少ない。里庄の魅力が伝わらないと思うが、どうか。

**まち整備課長**

財源を生活基盤の安定や教育・福祉に充てることで、住んでみたいと思える施策を進めていきたい。

**問**

今の定住促進対策が十分と考えるか。

**町長**

住んでよかった、住み続けたいと思ってもらうことが結果的には外から来てもう環境につながるかと考える。

**問**

転入者が分館へ加入してもらうために、どのように働きかけているのか。

**企画商工課長**

分館長の連絡先を案内している。地域の交流を図るため、まちづくり補助金を交付している。

**問**

水道料金値上げの要因は収益の減少か。収益の減少と耐震化のため。

**上下水道課長**

## 一般会計からの繰入れは

上下水道課長／受益者負担が原則。考ていない



佐藤 耕三 議員

**問**

一般会計から繰入れて料金値上げの凍結はできないか。

**上下水道課長**

地方公営企業法では受益者負担が原則。一般会計からの繰入れは考ていない。

**問**

重点支援地方交付金を利用し値上げ幅を抑える考えは。

**上下水道課長**

現段階では答えられない。審議会でも値上げはやむを得ないといった意見もあり、凍結できない状況と考える。

**問**

より広報紙に目を通してもらうために、広報紙のカラーの発行や町に関するクイズを掲載しては。

**企画商工課長**

カラー印刷については経費もかかり現在その考えはない。クイズを掲載している自治体があることは認識している。今後、研究していきたい。

## 広報紙のカラー発行は

企画商工課長／現在考ていない

**問**

転入希望者のために転入者の意見を載せてはどうか。

**企画商工課長**

転入者の声を伝えることは、地域理解の促進や新たな視点といったメリットがある。一方、個人情報保護、発言の信頼性などのリスクも考えられるので、今後研究していきたい。

**問**

毎回自衛隊募集を掲載しているがなぜか。

**企画商工課長**

自衛官募集事務は、国民の生活と財産を守る重要な任務を担う人材を確保するためにやっていると考え。今後も依頼があれば引き続き掲載する。

**町長**

自衛隊は国益・住民生活を守る大義がある。広報紙を通じ積極的に自衛隊への理解を進めるなど協力できればといった観点から掲載している。

田辺 博樹議員



## 5地区に2000万円は

町民課参事／一部事務組合のことで答弁は控える

**問**

新ゴミ焼却場建設で周辺500m以内の5地区に、2000万円ずつ配られたとのこと、それを知った多くの町民が釈然としないと言っている。2000万円という途方もない金額でもあるが、ほかの地区には全くなし、あまりにも妥当を欠いた措置ではないか。このことを認識しているか。

**参事**

町民課 本件については、他市町に関するもので、答弁は控える。

**問**

町としても何らかの対応策を取る必要があると思う。この施設、次に建て替えるときは里庄以外へと聞いているが、それは事実か。

**参事**

町民課 岡山県西部衛生施設組合に確認したところ、周辺地区から次の焼却場は別の場所にとの要望に、迷惑施設の用地確保は困難が予想されるため、将来の者に

負担を残すような約束は出来ない」と回答している。

**問**

迷惑施設を受け持っている里庄の町民が等しく受けるべき代償を公正にという町民の声もむべなるものかと思う。どのように対処するのか。

**町長**

迷惑施設は構成市町村のどこかが引き受けなければならぬ。笠岡市は斎場やし尿処理施設、粗大ごみのセンターなど受け入れてきた。地元対策費としてもらったところともらってないところ、住民の思いはあるでしょう。我々としては、前例も含めながら一つの基準を目安に対応している。今回も適正かどうかの判断をした上での組合の対応ということ。

## 町民の意思で

### 変えられるのでは

総務課長／基本計画を策定したところ

2つの建設プロジェクトについて。

**問**

本来、駅のエレベーター設置、

業化に至っていないので、撤退するかどうかの判断をする段階にはないと考えている。

**問**

公共施設の建て替えについては、かなり膨大な事業費が見積もられているようだが、従来の鉄筋コンクリート工法では致し方ないこと。

膨大な資金をつぎ込むことは適当ではないと考えるがどうか。

**まち整備課長**

町民アンケートや議会の意見など反映した見積額は概算約50億。今後どこまで整備するか、深く掘り下げて研究し、補助金などの財源確保と町の財政状況を鑑みながら事業化する必要があると考えている。したがって、現時点で事

木造CLT構造を主体とした、イメージ的に大型民家のような、心から憩える空間、室内空間も思いのまま耐震性も十分。官公庁舎は鉄筋コンクリートという従来の概念は打ち捨ててCLT主体の木造、人に優しい建築にするのはどうか。

この計画は完全に煮詰まったわけではない。町民の意思で変えられるの

ではないか。

**総務課長**

現在検討している中央公民館と福祉会館の建て替えについては、基本計画を策定したところであり、去る11月11日公共施設建替基本計画検討委員会の基本計画の内容について承認された。

2800㎡を上限とする大規模な建物を想定しており、CLT工法を含めた木造、鉄骨造、鉄筋コンクリート造りの構造的特徴やメリットデメリットについて比較検討している。

CLT工法を壁などの一部に利用することで、利用者に温かみを感じさせる施設にすることなどを視野に入れている。

# 8年間の評価は

## 町長／やり残した事業は特にならない



仁科千鶴子 議員

### 問

子どもの元気な声が響き、みんなの笑顔あふれる町を目指された、加藤町政8年間の評価しているのか。

満足した事業、やり残した事業はあるのか。

### 町長

平成30年7月豪雨で町内に被害があり情報伝達方法の伝達不足を痛感し、災害情報伝達システムを導入。新型コロナウイルス感染症により、町民生活や行政活動に影響があり、復旧には労力と財源が必要。浜中バイパスや町道里見716号線など基幹道路の完成、井笠広域清掃工場が完成し、熱を利用しての温水プールや広域連携拠点施設も予定して

### 問

今後里庄町長に期待することは、里庄町の良さを将来しっかりと引き継いで、生き生きと活力ある町づくりを、職員と町民と手を携えて頑張

進めてほしい。

### 問

職員に対して、8年間の期待を一言、思いと今後の期待を一言、業務の変化、職員

### 町長

の思いや大変さを感じていた。本当に大変な中で、よく頑張っていると思う。公平公正かつ柔軟な思考と強い責任感を持つと同時にお互い協力をして、自身の健康を大切にしながら、今後も取り組んでほしい。

### 問

農地活用と耕作放棄地の現状は、所有者の高齢化や家族も管理自

体出来ないという理由で、年々増加している。

### 問

地域担い手育成総合支援協議会の内容は、耕作放棄地をどうにか

してくれるのか。

### 農林建設課 参事

荒廃農地再生をうたっているが、認定農業者の認定が主な業務。現在、個人8人、団体1団体。

### 問

令和7年度農業振興の予算は680万円。その内、耕作放棄地対策はいくらか。

### 問

自走式草刈り機を必要分館に補助し用意しておけば、借りやすく活動がしやすいと思うがどうか。

### 農林建設課 参事

考えていない。

### 問

宝くじの補助金で町が自走式草刈り機を10台申請し、分館に出す考えは。

### 農林建設課 参事

検討する。

### 問

里ちゃん農園の利用状況は。運営を見直し、廃止した。

### 農林建設課 参事

廃止した。

### 問

自由に使うことができる道具を揃えて、農業従事者が何時間か従事するので、教えてもらいながら若い家

### 問

農園を廃止して数年しか経っていないので、再度整備する考えはない。

### 農林建設課 参事

農園を廃止しては。

### 問

きれいな里庄にして欲しいと願う町民が多い。今後のビジョンに合う交付金か、交付金にあたる事業を検討する余地があるのでは。

### 農林建設課 参事

若い就農者を掘り起こして、一定規模の農地を利用し続けてもらうことが重要。自主財源だけでは、難しいので、補助金を活用しながら、そういう施策が展開できないか、現在検討している。

## 必要な分館に 自走式草刈り機を

農林建設課参事／考えていない

# 新年の挨拶



里庄町議会議長

平野 敏弘

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、令和8年の希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、平素より町議会に對しまして温かいご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

現在、我が国を取り巻く環境は、急速なデジタル化や技術革新が進む一方で、長引く円安や原材料・エネルギー価格の高騰、深刻な人手不足など、依然として予断を許さない厳しい状況にあります。こうした激動の時代にあ

って、地方自治体にはこれまで以上に、柔軟な創意工夫とコスト意識を持った、質の高い行財政運営が求められています。このような転換期において、私たち町議会は、二元代表制の一翼を担う議事機関としての役割を果たしながら、町執行部との議論を通してこの難局を乗り越えていかなければなりません。

誰もが生き生きと暮らせる福祉の充実とともに、里庄町が将来にわたって選ばれる魅力あるまちであり続けられるよう、山積する諸課題に對し、町民の皆様の声の的確に施策へと反映されるよう求めてまいります。皆様の幸せな暮らしを守るため、議員一丸となつて全力で取り組んでまいりますので、今後ともより一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、新しい年が皆様にとつて、素晴らしい一年となりますことを心からご祈念申し上げます。



副議長 仁科 英磨

議長を補佐し、議会がより民主的で活発な議論の場となるよう努めます。そして里庄町が一層住みよい町となるよう尽力したいと思います。



議員 岡村 咲津紀

町民の代弁者として引き続きご意見ご要望の把握に努め、住民の方々のお声を議会に届け、「安心・安全な町里庄」の実現に向けて取り組みます。



議員 小野 光章

町民の皆さんに信頼される議会とすることが一番で、更にステップアップをするために、議会の指針を示す、議会基本条例の制定を目指します。



議員 仁科 千鶴子

健康第一  
まずはダイエット成功に向けがんばります。身も心も軽くし町内を馬のごとく走り回ります。



議員 佐藤 耕三

今年の運勢は、凶。しかも大病を患う気運ありとのことでした。まずは一日一万歩を目標に一年間、健康に留意したいと思います。



議員 田辺 博樹

国際法無視の独裁者達の大残虐行為の数々。自由を謳歌する世界市民の沈黙、傍観に罪はないのか。聴て火の粉が我が身に振り掛かるは自明の理。



議員 難波 啓祐

今年も町民との交流、地方自治をもっと身近なものにし、町と人の魅力を引き出し、今よりもっと住みよい町の実現を目指します。



議員 岡本 貴之

地域の声をしっかり聞き、フットワーク軽く動いて、皆さまが「住んでよかった」と思えるまちづくりに取り組む一年にしたいと思います。

# 視察・研修



## 常任委員会

10月2日に大阪府島本町、3日に兵庫県加西市を視察・研修しました。

【里庄町 面積12.23km<sup>2</sup>、人口約10600人】

### 【島本町 面積16.81km<sup>2</sup> 人口約32000人】

島本町では、令和7年に新庁舎が完成し、旧庁舎解体と駐車場の整備を行っていました。庁舎完成までの経緯などの説明を受けました。建て替えについては、国からの交付金を上手に活用し、新庁舎が完成しました。

里庄町では、公共施設の建て替えを計画しています。



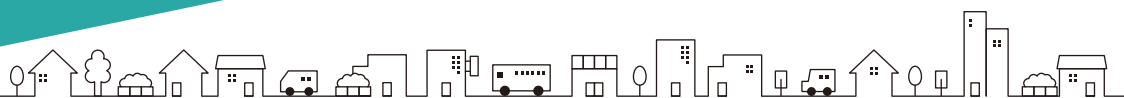
### 【加西市 面積 150.98km<sup>2</sup> 人口約40000人】

加西市議会では、「加西市議会ハラスメント防止条例」を制定し、令和6年6月5日に施行されました。この条例は、議員間および議員から職員へのハラスメントを防ぎ、良好な職場環境を確保することで、市民サービスの向上と信頼される議会の実現を目指しています。

里庄町では、昨年3月25日に施行しています。



# 一部事務組合行政視察



## 西南水道企業団組合議会（岡村議員、難波議員）

10月21日に静岡県地震防災センター、22日に静岡県大井川広域水道企業団を視察しました。

### ・地震防災センター

地震、津波、風水害などを想定した自然災害に対応するために、実際にどのようにしてそれらの災害が起きるかを「知る・備える・行動する」をコンセプトに発信拠点として展示し、県民全員で何ができるか、何をすべきかを提案しています。

### ・大井川広域水道企業団

大井川下流域7市に対し、水を供給しています。人口減少・施設の老朽化・災害対策などにより厳しさを増しており、水道事業の持続的な経営を確保するための策定を進めています。

## 笠岡地区消防組合議会（仁科千議員、岡本議員）

10月28日に北九州消防局、29日に救命救急九州研究所を視察しました。

### ・北九州消防局

北九州消防局では、より迅速かつ正確さを目的にタブレット端末を利用した救急体制を整備しており、通報から現場到着までの時間短縮をはじめ、患者の容体を病院の医師と情報共有する事で、より確実な処置が可能となっているとの説明を受けました。

### ・救命救急九州研究所

救命救急九州研究所では、救命救急士としての模擬展示を見学しました。模擬救急終了後には、反省点や感想をはじめ、実習生からの質問など意見交換の時間もあり、充実した講習が行われていました。

## 岡山県西部環境整備施設組合議会（佐藤議員、田辺議員）

10月30日に福井県若狭広域クリーンセンター、31日に兵庫県三木クリーンセンターを視察しました。

### ・若狭広域クリーンセンター

若狭広域クリーンセンターは小浜市を中心に4つの市町で組合を設立。この焼却施設は高浜町にあり、これとは別にごみ運搬を効率的に行うため、持ち込みごみや収集車で集めたごみを大型運搬車に積み替えるサテライトセンターを若狭町内に設けています。

### ・三木クリーンセンター

三木クリーンセンターでは焼却施設以外に大型スーパーと連携し、スーパーの残った食材を肥料にして野菜を生産。それらをスーパーで販売するといった取り組みをしています。

## 里庄町文化協会

## 華道部

華道は、文化協会創立当時から愛好家が文化祭に出展し、楽しまれていました。

平成2年4月から新生華道部として正式加入を果たし、現在に至り会員は9人です。しかし、文化祭などのイベントには二十数人が出展され、華やかに会場を盛り上げています。

いけばなは仏前の供え花から始まり、今から1400年前に小野妹子が遣隋使として聖徳太子の命を受け隋に渡り、その文化を持ち帰り、時代を越えて現在のいけばなの姿となりました。

いけばなは伝統を重んじる生け方と感性を大事に自由な表現であらゆる角度から探求することも楽しみで、今の生活様式に合った生

け方で個性的な作品になります。

いけばなは季節を感じ、お花がそこに一輪あるだけでも心も安らぎ、心を豊かにしてくれます。

道端にひっそりと咲く小さな花に足を止めてみる心のゆとり、花を生けて飾る楽しいひとときを共有いたしましょう。お待ちしております。



## 《第123号》

令和8年1月31日発行

発行/岡山県 里庄町議会  
〒719-0398  
岡山県浅口郡里庄町  
TEL(0865)64-7217  
FAX(0865)64-3618

編集/議会広報編集委員会

E-mail:gikai@town.satosho.lg.jp

## ●あしがき

## 馬頭成功

新年あけましておめでとうございます。

丙午の年は勢いに満ちて、活動的になるといわれています。また、馬が到着すれば成功が訪れるともいわれています。

今年一年、皆様にとって良い年となることを願っています。

議会だよりについてのご意見もお待ちしています。

(佐藤)

編集委員 委員長: 佐藤耕三 副委員長: 岡本貴之  
委員: 仁科千鶴子 委員: 田辺博樹 委員: 難波啓祐

令和8年3月定例会は、3月5日(木)から始まる予定です。